

# 2019 年度 住宅地盤技術者認定資格試験 受験案内

## ●試験の日時・方法

### (1)調査部門

技 士[筆記試験(択一式 30 問 )] 2019 年 10 月 20 日(日) 10 時 30 分～11 時 45 分(75 分)  
主任技士[筆記試験(択一式 23 問・一部記述式\*)] 2019 年 10 月 20 日(日) 10 時 30 分～12 時 00 分(90 分)

### (2)設計施工部門

技 士[筆記試験(択一式 30 問 )] 2019 年 10 月 20 日(日) 13 時 30 分～14 時 45 分(75 分)  
主任技士[筆記試験(択一式 23 問・一部記述式\*)] 2019 年 10 月 20 日(日) 13 時 30 分～15 時 00 分(90 分)

調査部門と設計施工部門の両方を受験することはできますが、同じ部門の技士と主任技士の両方を受験することはできません。

会場受付の開始は調査部門(9 時 30 分)、設計施工部門(12 時 30 分)です。

※ 主任技士の試験は、択一式 23 点(問)、計算 2 点、記述 5 点の 30 点満点です。主任技士に必須の解析・考察能力を重視し、記述が 2 点未満の場合は合計点が合格ラインを超えていても不合格となります。

## ●試験地(全国 8 会場):札幌・仙台・東京・伊勢崎(群馬)・名古屋・大阪・岡山・福岡

(注) 東京は 3 会場を予定していますが、受験者が選択することはできません。また、受験申込書提出後の試験地の変更はできません。なお、ご希望の会場が定員を超える場合は、お受けできないことがあります。

今年度は会場確保の都合上、高崎ではなく伊勢崎となりました。

## ●受験申込書提出期間

自 2019 年 7 月 1 日(月)  
至 2019 年 9 月 6 日(金) 厳守

郵送など消印で発送日の判るものに限り締切日の発送でも有効とします。持参の場合は締切日 16 時 30 分までとします。

期日を過ぎたものは一切受付いたしません。

なお、お申込内容に不備があった時は申込書を原則一旦返却いたしますので締切日間近のお申込ですと受験できなくなる場合があります。余裕を持ってお早めにお申込下さい。

## ●受験料と振込方法

### (1)受験料

住宅地盤技士 6,000 円 住宅地盤主任技士 7,000 円 ※部門毎に必要

### (2)振込方法

郵便振替又は銀行振込みでお支払い頂き、必ず振込の控えのコピーを同封してお申込み下さい。

振込手数料は各自ご負担下さい。なお、調査部門と設計施工部門の両方を受験する場合はそれぞれに受験料が必要です。また、受験取り消しによる返金はできません。

受験票は、試験日の 2 週間前頃にお送りします。

### 郵便振替

口座番号 00810-3-60522

口座名称 特定非営利活動法人  
住宅地盤品質協会

### 銀行振込み

りそな銀行 上野支店

口座番号 普通 1473956

口座名称

トクビジュウタクゾバンヒンシツキョウカイ

## ●合否決定・通知および登録

2019 年 12 月上旬(予定)に地盤通信や協会のホームページで合格者を発表します。本人への直接通知はありませんのでご注意ください。合格者には登録証を交付(翌年 2 月頃の予定)して、部門別の「技士」または「主任技士」の称号を付与します。

## ●選考の基準

試験委員会および理事会において厳正に選考されます。

## ●受験申込書の提出先

特定非営利活動法人 住宅地盤品質協会 事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島 4-6-12 湯島ハイタウン B-222 TEL 03-3830-9823 FAX 03-3830-9852

## ●登録の有効期間・登録の更新

(1)登録の有効期間は、試験に合格した年度の翌年度から 4 年間とし、「登録証」には有効期限が記載されます。

(2)登録の更新は、当協会が指定するセミナー・研修等の受講が必要です。これは技術水準の維持・向上と最近の技術知識の習得を目的として実施するものです。なお、登録更新に伴う費用は別途ご負担いただきます。

# 受験申込について

受験申込をされる方は、下記「受験に必要な要件一覧表」で受験資格を確認して下さい。

また、受験申込書は「記入上の注意」(3 ページ目)に従ってご記入下さい。

- (1)2019 年度 住宅地盤技術者認定資格試験<受験申込書> (4 ページ目)
- (2)振込の控えのコピー (受験料・振込先は受験案内をご覧ください。)

を合わせて提出願います。

## ●受験に必要な要件一覧表

2019 年 10 月 1 日現在、次の表の各欄のいずれかに該当する人が受験することができます。

	住宅地盤技士	住宅地盤主任技士
調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 住宅地盤調査及びその関係業務<sup>※2</sup> 経験 1 年以上<sup>※1</sup></li> <li>b. 地質調査業務<sup>※4</sup>、建築設計又は施工管理業務、土木設計又は施工管理業務、住宅保証関連業務経験 2 年以上<sup>※1</sup></li> <li>c. 一級・二級建築士、一級・二級土木施工管理技士、地質調査技士など、建設関連の公的資格<sup>※5</sup> 所持者</li> <li>d. 指定セミナー受講者<sup>※6</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a. 住宅地盤技士<sup>※3</sup> 合格後 3 年以上</li> <li>b. 住宅地盤調査及びその関係業務<sup>※2</sup> 経験 5 年以上<sup>※1</sup></li> <li>c. 地質調査業務<sup>※4</sup> 経験 3 年以上で、かつ住宅地盤調査業務が 2 年以上<sup>※1</sup></li> <li>d. 地質調査業務<sup>※4</sup>、建築設計又は施工管理業務、土木設計又は施工管理業務、住宅保証関連業務経験 10 年以上<sup>※1</sup></li> </ul>
設計・施工	<ul style="list-style-type: none"> <li>e. 住宅地盤補強の設計、施工及びその関係業務<sup>※2</sup> 経験 1 年以上<sup>※1</sup></li> <li>f. 地質調査業務<sup>※4</sup>、建築設計又は施工管理業務、土木設計又は施工管理業務、住宅保証関連業務経験 2 年以上<sup>※1</sup></li> <li>g. 一級・二級建築士、一級・二級土木施工管理技士、地質調査技士など、建設関連の公的資格<sup>※5</sup> 所持者</li> <li>h. 指定セミナー受講者<sup>※6</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>e. 住宅地盤技士<sup>※3</sup> 合格後 3 年以上</li> <li>f. 住宅地盤補強工事における設計及び施工の各業務及びその関係業務<sup>※2</sup> の経験が合計 5 年以上<sup>※1</sup></li> <li>g. 地質調査業務<sup>※4</sup> 経験 3 年以上で、かつ住宅地盤補強工事の設計・施工業務が 2 年以上<sup>※1</sup></li> <li>h. 地質調査業務<sup>※4</sup>、建築設計又は施工管理業務、土木設計又は施工管理業務、住宅保証関連業務経験 10 年以上<sup>※1</sup></li> </ul>

受験申込書の実務経験証明書と照合して規定に満たない場合は受付できません<sup>※7</sup> ので、ご注意ください。

- ※1 実務経験は会社の代表者、あるいは配属部署の上長等の証明が必要です。
- ※2 関係業務には技術職、営業職、補助職などの現場実務の経験がない方も含みます。
- ※3 調査部門、設計施工部門の区別は問いません。(技調第 28xxxx 号、技設第 28xxxx 号の方は受験可)
- ※4 地質調査業登録を持つ会社に所属(在職)した期間を指します。
- ※5 建設関連公的資格は次の通り  
 技術士、地質調査技士、RCCM、特別上級・上級・一級土木技術者、一級・二級建築士、  
 一級・二級土木施工管理技士、一級・二級建築施工管理技士、木造建築士、地盤品質判定士
- ※6 2019 年度は住宅地盤スキルアップセミナーが該当します。(研第 19xxxx 号登録者)
- ※7 申し込み受付が出来ない場合には「受付謝絶のご通知」をいたします。

## 記入上の注意

内容に不備があった時は申込書を原則一旦返却いたしますので締切日間近のお申込ですと受験できなくなる場合があります。記入上の注意をよくご覧になり、余裕を持ってお早めにお申込下さい。

### (1) 試験地

ご希望の試験地は試験会場の定員が超過した場合に、お断り又は会場変更をお願いすることがございます。東京会場(3会場予定)をご希望の場合、会場を指定することはできません。

### (2) 検定区分

受験希望の部門の主任もしくは技士にチェック(レ点)を入れてください。同じ部門の主任と技士を同時に受験することはできません。(同一時間帯に試験を行うため)

### (3) 氏名等

氏名・フリガナ・生年月日・年齢・性別は本人確認の重要な情報です。本人印も必ず押印下さい。

### (4) 顔写真貼付欄

顔写真は受験時の本人確認及び登録証に用いますので、6ヶ月以内撮影の鮮明なものを使用してください。また写真サイズにご留意ください。なお、写真の裏面には本人の氏名をご記入ください。(剥がれた時のため)

### (5) 連絡・送付先

受験票・登録証の送付先となります。

### (6) 勤務先住所及び自宅住所等

正確にご記入下さい。電話番号は至急連絡の際に用います(自宅TELは携帯電話番号を優先記入)。合格発表までの間に住所が変更になった場合には速やかに届けてください。受験票のお届けや通知・連絡に用います。

### (7) 登録番号

お持ちの住宅地盤技士・主任技士の登録番号をご記入下さい。受験資格の確認と本人確認に使用します。

### (8) 建築関連公的資格

受験資格の確認に使用します。対象となる資格は「受験に必要な要件一覧表」でご確認下さい。

### (9) 実務者登録番号

受験資格の確認に使用します。今年度の登録者のみご記入下さい。

### (10) 実務経験証明書

在職確認と受験資格の確認に使用します。

実務経験・在職期間について**2019年10月1日現在で記入**して下さい。

証明者は会社の代表者又は配属部署の上長のことです。**証明者の氏名及び捺印のないものは受付できません。**

職務内容は所属期間中に主に従事した業務(ア・イ・ウ)に、○(丸)を付けて下さい。

ア. 住宅地盤調査及び関係業務<sup>※2</sup>      イ. 住宅地盤補強の設計・施工及び関係業務<sup>※2</sup>

ウ. 地質調査業務<sup>※4</sup>、建築設計又は施工管理業務、土木設計又は施工管理業務、住宅保証関連業務

※2、※4などの詳細は「受験に必要な要件一覧表」でご確認下さい。

**実務経験合計は在職期間中の実務経験をア・イ・ウ毎に合計したものを記入下さい。**

2019 年度 住宅地盤技術者認定資格試験＜受験申込書＞ 申込日 月 日

試験地	検定区分	調査部門	<input type="checkbox"/> 主任	<input type="checkbox"/> 技士		
		設計施工部門	<input type="checkbox"/> 主任	<input type="checkbox"/> 技士		
氏名	フリガナ				顔写真貼付欄 タテ3.0cm ヨコ2.4cm ※裏面に氏名記載 ※6ヶ月以内撮影	
	※生年月日 S・H 年 月 日 (才) (男・女)					
所属会社						
本支店名	本社・支店・営業所・( )			所属部課		
連絡・送付先	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅 受験票等の送付先	入社日	年 月	在職期間	年 月	
勤務先住所	(〒 - )( 都・道・府・県)			TEL FAX		
自宅住所	(〒 - )( 都・道・府・県)			TEL FAX		
登録番号	調査部門		<input type="checkbox"/> 主任技士 <input type="checkbox"/> 技士	設計施工部門		<input type="checkbox"/> 主任技士 <input type="checkbox"/> 技士
	第		号	第		号

建築関連公的資格名(1つのみ記載)	登録番号
-------------------	------

実務者登録番号(今年度登録者のみ)	研	第	1	9				号
-------------------	---	---	---	---	--	--	--	---

<b>&lt;技術者認定資格試験 実務経験証明書&gt;</b>		証明日 2019 年 月 日	
NPO 住宅地盤品質協会 理事長 塚本 英 殿 本受験申込者の実務経験が記載どおりであることを証明します。証明事項が事実と相違する場合には合格を取り消されても異存のないことを誓約します。	証 明 者	勤務先名	
		所在地	
		役職名	
		氏名	㊞
勤務先名(最近のものを上に記載)		職務内容 <sup>注)</sup>	在職期間
現在		ア・イ・ウ	年 月 ~ 年 月 (年 月)
1つ前		ア・イ・ウ	年 月 ~ 年 月 (年 月)
2つ前		ア・イ・ウ	年 月 ~ 年 月 (年 月)
3つ前		ア・イ・ウ	年 月 ~ 年 月 (年 月)
実務経験合計(10月1日現在)		(ア) 年 月	(イ) 年 月 (ウ) 年 月

注) 職務内容 ア. 住宅地盤調査及び関係業務<sup>※2</sup> イ. 住宅地盤補強の設計・施工及び関係業務<sup>※2</sup>  
ウ. 地質調査業務<sup>※4</sup>、建築設計又は施工管理業務、土木設計又は施工管理業務、住宅保証関連業務